

2026年度 柚野中学校 グランドデザイン

こども

学校

ウェルビーイング

家庭

地域



小中学校教育目標『柚野を愛し、柚野に学ぶ』

小学校：主体的に生きる

中学校：品格を高める



【小中学校経営目標】

自己・他者・地域を愛する心と主体性・協働性を育む魅力ある学校づくり

Plan

【重点目標：目指すこども像】（柚野小中連携三部会による計画立案）

●認め合う：思いやりの心を持ち、主体的に行動するこども（豊かな心育成部）

◆学び合う：主体的に学び、共に高め合うこども（確かな学力育成部）

▼鍛え合う：健康な身体や正しい生活習慣を主体的につくるこども（たくましい心身育成部）

Action

○課題に対する改善案について検討後
改善案の実施

<改善案の検討場面>

【短期】 打合せ、職員会議、職員研修

【中期】 小中三部会、学校運営協議会、
PTA理事会

【長期】 教育課程編成

Do

●豊かな心育成部(生徒指導部 特活部)

●誰とでも活動できる集団づくり

・対話的な自己表現活動や自主的な生徒
会活動の充実

●多様性を尊重した特別支援教育

・一人一人の教育的ニーズに応じた支援

●社会情動的スキルを育む生徒指導

・安心して学校生活を送れる学級集団

●思いやりの心を育む人権教育、

・新・人間関係づくりプログラムの活用

●自己の生き方を考える道德教育

・考え議論する道德の授業の充実

◆確かな学力育成部(研修部 ICT 担当)

◆ICT を効果的に活用した学びの充実

・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な
充実

◆「学びの伴走者」としての教師の関わり

・主体的、対話的で深い学びを視点にした授
業改善

◆こどもが主体的に学ぶ「学びのサイクル」の確立

・対話を通して考えを広げ深める授業の展開

◆持続可能な社会の創り手の育成

・地域との関わりを通して探求力を育てる体験
的な学びの充実

Check

【評価場面・方法(教職員・学校関係者)】

・日常的な学習評価、生活評価
・学校評価(年2回) ・小中三部会
・学校運営協議会、PTA理事会
・行事毎の成果と課題の分析

【評価場面・方法(こども)】

・授業における振り返り
・定期テスト、定着度調査、全国学・学調査

【学校評価重点項目】

(小・中の順) 【 】は到達目標(%)

①授業が楽しい (93・93)[95]

②柚香の意欲的な追究(98・84)[90]

③学校が楽しい (94・88)[90]

④挨拶、言葉遣い (99・96) [95]

⑤体力づくり (96・64) [80]

⑥早寝早起き朝ごはん (93・75)[85]

主体性

認め合う

学び合う

協働性

9年間で
身に付けたい
資質・能力

鍛え合う

対話力

情報リテラシー

郷土愛

メタ認知力

▼主体的に取り組む体力づくり

・目標をもって取り組む保健体育の充実
・自主的な体力づくり

▼家庭と連携した健康教育

・基本的生活習慣の確立、学校保健委員会

▼自らの命を守る安全教育

・生活安全、交通安全、災害安全

▼たくましい心身育成部(養教 体育主任)

地域・家庭との連携・協働

○コミュニティ・スクール
○学校地域協働本部
○地域行事への参加

安全・安心な学校づくり

○学校設備の点検・整備
○危機管理意識の向上
○食物アレルギーへの対応

働き方改革の推進

○教職員が働きやすい職場環
境づくり
○校務DX化への取組

☆国の基本方針:「持続可能な社会の創り手の育成」「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」

☆県の基本理念:誰一人取り残さない教育の実現 ☆富士宮市の目指すこども像:「富士山を心に夢をもって生きる子ども」